

下水道使用料改定案について

(2026年10月改定を想定)

年 度	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
下水道使用料(百万円)	4,980.5	5,717.2	7,059.9	7,036.5	7,010.4	6,981.9	6,951.0	6,917.9	6,883.5	6,849.3	6,815.3
当年度純利益(又は損失)(百万円)	8.6	22.9	1,059.1	822.9	714.7	289.8	▲ 63.6	190.3	150.1	▲ 15.8	▲ 137.2
使用料単価(円)	120.0	138.2	171.3	171.4	171.5	171.6	171.7	171.8	171.8	171.9	172.0

現行使用料(1か月)【税抜】

使用料改定案(1か月)【税抜】

	汚水量(m³)	単価(円)		汚水量(m³)	単価(円)	増加額(円)	改定率
基本使用料	-	560	基本使用料	-	733	173	31%
従量使用料	0 ~ 8	0	従量使用料	0 ~ 8	30	30	-
	9 ~ 20	110		9 ~ 20	143	33	30%
	21 ~ 30	140		21 ~ 30	182	42	30%
	31 ~ 50	170		31 ~ 50	221	51	30%
	51 ~ 100	200		51 ~ 100	260	60	30%
	101 ~ 200	230		101 ~ 200	299	69	30%
	201 ~ 500	270		201 ~ 500	351	81	30%
	501 ~ 1,000	310		501 ~ 1,000	403	93	30%
	1,001 ~	345		1,001 ~	449	104	30%

【料金体系の考え方】

- ・二部使用料制を継続する。
- ・基本使用料は173円増の733円とする。
- ・基本水量を廃止し、8m³/月までは単価30円とする。
- ・従量使用料の単価は一律30%増とする。

2か月あたりの影響額【税込】

モデルケース 使用水量	単身世帯 16 m³	3~4人世帯 40 m³	事務所など 100 m³	工場など 2,000 m³
改定前使用料	1,232 円	4,136 円	14,696 円	606,496 円
改定後使用料	2,140 円	5,915 円	19,643 円	788,983 円
増加額	908 円	1,779 円	4,947 円	182,487 円
増加率	74%	43%	34%	30%

【特徴】

- ・使用料単価は170円/m³程度となり、現在より50円/m³程度増となる。
- ・基本水量を廃止するため、使用水量に応じた請求額となり、今まで基本水量の範囲に収まっていた使用者の負担は、380~908円増となる。
- ・従量使用料については、負担増の公平性を考慮し、各水量ランクの改定率を「一律30%」としている(汚水量が「0~8m³」の場合を除く)。
- ・2031年度以降は当年度損失が発生する年が出てくる。

※使用料改定をしない場合と比較すると、使用料収入は40.6%増となる。